

2017年12月8日

ゼミの武蔵 一ゼミで磨く 世界を生き抜く力



武蔵大学次期学長に 山崎 哲哉学長の再任が決定しました

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、次期学長選考を行い10月26日に開催された学校法人根津育英会武蔵学園第272回理事会において、現武蔵大学長の山崎 哲哉（やまさき てつや）の再任が決定しました。任期は2018年4月1日から2022年3月31日となります。

略歴

1957年 山口県徳山市（現、周南市）生まれ
1981年 早稲田大学第一文学部卒業
1990年 早稲田大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程単位取得退学
早稲田大学文学部助手などを経て、1991年に武蔵大学に着任。専任講師、助教授を経て、2000年教授に就任。社会学部長、学生支援センター長、教務部長、学長補佐を経て、2014年4月学長に就任。



主な著書

『アイデンティティと社会意識』（共著 北樹出版 2012年）、『クリティークとしての社会学』（共著 東信堂 2004年）、『団塊世代・新論』（共著、有信堂 2001年）、『現代生活と人間』（共著 晃洋書房 1993年）、『現象学的社会学の展開』（共著 青土社 1991年）、『女性たちの生活ネットワーク』（共著 文眞堂 1988年）

専門分野

社会学における社会意識論、ジェンダー論、若者文化論。日本社会学会、日本社会学理論学会などに所属。

学長再任のあいさつ

今、社会の情勢は国の内外を問わずグローバル化を基軸として大きく変化しています。そのなかで大学のあり方も問われています。武蔵大学の教育は、「自ら調べ自ら考える」力を持ち、「心を開いて対話」し、「世界に思いをめぐらし、身近な場所で実践」できるグローバル市民の育成を目標としています。そして、この目標を達成する場として、本学伝統の「ゼミ」が何より有効だと考えています。武蔵大学のゼミがこれまでに積み重ねてきた実績は、「三学部横断型ゼミナール・プロジェクト」のような展開を含め、大きな成果を上げています。

また、グローバルリーダーの育成に向けて、2015年度から経済学部で「ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム（PDP）」を実施しています。これは武蔵大学とロンドン大学の学位2つを取得するというプログラムで、日本にいながら世界水準の授業を英語で受講し、世界有数の大学の学位を取得することができます。さらに、2017年度からは人文学部では高い語学力と文化理解力を養う「グローバル・スタディーズコース（GSC）」が、社会学部でもデータ分析と英語のスキルを身に付ける「グローバル・データサイエンスコース（GDS）」が始動しています。開学以来の伝統であるゼミでの学びをベースとしつつ、様々な授業やプログラムを通して語学力やグローバルな視野を磨き、さらなるグローバル市民の育成をします。

■ 武蔵大学 概要

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1